

登録No. S-063
 登録名 Cetuximab/FOLFIRI療法
 催吐性リスク 中等度+オプション
 適応疾患 結腸・直腸癌
 投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	ハパリンNa注射液	1本/body		d1・3・8	CVポート	7ショット	ハパリン注射液、ハパリン注射液用
Rp.2	グラニセトロン注射液 デキサメタゾン リン酸フルオロウラシル	100mL/body 6.6mg/body 5mg/body		d1	d.i.v. (CVポート)	30min	アプレピタント併用
Rp.2'	デキサメタゾン リン酸フルオロウラシル 生食	6.6mg/body 5mg/body 50mL/body		d8	d.i.v. (CVポート)	30min	
Rp.3	セツキシマブ 生食	初回400mg/m ² 2回目以降250mg/m ² 250mL/body		d1・8	d.i.v. (CVポート)	120min (400mg/m ² 時) 60min (250mg/m ² 時)	前投薬終了後より投与開始
Rp.4	生食	100mL/body		d1・8	d.i.v. (CVポート)	60min	薬剤7ショット・経過観察目的
Rp.5	レボホリナート 5%ブドウ糖液	200mg/m ² 250mL/body		d1	d.i.v. (CVポート)	2hr	メインルート
Rp.6	イリノテカン 5%ブドウ糖液	150mg/m ² 250mL/body		d1	d.i.v. (CVポート)	90min	側管 レボホリナートと同時投与
Rp.7	5-FU 生食	400mg/m ² 50mL/body		d1	d.i.v. (CVポート)	全開	
Rp.8	5-FU 生食	2400mg/m ² 適量		d1	d.i.v.持続投与 (CVポート)	46hr	輸液ポンプ、インフュー ザーポンプ使用。 生食量は換算表参照

1クールの間 2週間
 その他（副作用・PS規定等）

CVポート必要
 副作用： 皮疹、下痢、骨髄抑制、消化器症状、出血性膀胱炎、低マグネシウム血症、間質性肺炎
 infusion reaction： 重度（Grade3以上）の場合は本剤投与中止
 Grade2以下の場合は投与速度減じて慎重投与